



東海道どまん中

発!

袋井土木事務所 「県民の日」「川の日」イベント

今年も「川発見隊」が出勤しました!

「川発見隊」は、子供たちにリポートレッキング(川あるき)を行うなかで、川への関心や愛着を深めてもらうことを目的に、平成14年度から開催しています。

今年には公募した44名(保護者含む)の隊員で8月9日(金)に開催しました。絶好の天気の中、約2.6kmの道のりを全員が完歩し、全身で川を体感してくれたことと思います。

私たち職員も、子供たちの笑顔からたくさん元気をもらいました(〇)/

毎年ご好評いただき、今年も多数の応募をいただきました。参加者は、抽選とさせていただきます。落選された方には大変申し訳ありませんでした。



元気に出発!
エイ イー オー!!



みんなで協力して乗り越えるぞ!!



川にはいろんな生き物がいるよ



みんなマシメに聞いているね



お昼ごはん

みんなで食べる
お弁当美味しいね☆



今日一日のおさらい



ご意見、ご感想は下記までお願いします。
今後も、皆様のご意見を励みに頑張ります。



静岡県袋井土木事務所 (企画検査課)

〒437-0042 袋井市山名町2番1号 TEL0538-42-3216 Fax0538-42-1782 e-mail : fukudo-kikakukensa@pref.shizuoka.lg.jp
袋井土木事務所HP/URL : <http://doboKu.pref.shizuoka.jp/desaki/fukuroi/index.html>

住民の住民による住民のための道づくり



～きっかけは一人の声から～

協働による道づくりの事例：県道 袋井小笠線(袋井市高尾)

地元住民の方より「袋井南小学校付近の県道は、道路幅員が狭く、通勤・通学の時間帯は大混雑している。いつ事故が起こっても不思議ではない状況を県は把握しているのか？」との投書が寄せられる。

地元住民・学校関係者(PTA・教諭)・警察・行政による意見交換会を開催

＜意見交換会のテーマ＞

- 参加者とともに現地を確認し危険箇所の共通認識を持った
- 参加者からの意見をもとに問題点を整理した
- 市広報へ掲載し、市民から広く意見をいただいた
- 今ある用地の中でどのような対策が効果的なのか検討した



袋井時報



参加者との現地調査

意見交換会による対策の決定

- 路肩、交差点において歩行者空間を明確に強調⇒カラー舗装
- 側溝の上も歩きやすくする⇒側溝蓋の改修
- 路肩の段差を解消し歩行者・自転車の通行を快適にする⇒路面切削
- 自動車に歩行者空間との境界をはっきり見せる⇒外側線の引き直し



参加者との意見交換

工事中に工夫したこと

- 工事期間の短縮のため、新工法を導入した⇒コスト縮減、通学路の確保
- 工事 PR 看板により、地元住民や通学児童への理解を求めた

みんな交通安全に対して危機感を持っていたんだね



工事完成後の住民の声

- きれいになって安心して歩けるようになった(10代女子)
- 前より広くなった気がする(10代男子)
- 段差がなくなり自転車で走りやすくなった(60代男性)

舗装と側溝の段差



着手前



完成



着手前



完成

地元の方々との協働による道づくりの事例、いかがだったでしょうか？

私たち職員は、これからも県民の皆様の声を大切に仕事をしていきます。ご意見よろしくお願いします。

